

議 平生町
議会だより

第 142 号

2016 年 10 月 28 日

発行 平生町議会
 〒742-1195
 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
 発行責任者 福田 洋明
 編集 議会広報広聴調査特別委員会



きまった!! 平生小学校運動会 (9月25日)

9月
議会報告

定例会	2ページ
常任委員会審査報告	3ページ
いっぱん質問	4ページ
議会の動きなど	10ページ





9月定例会

平成27年度の将来負担比率 22.0ポイント改善

平成28年第4回平生町議会定例会が、9月5日から16日までの12日間の日程で行われ、議案として、補正予算4件、条例2件、認定9件、同意1件が上程されました。各議案は全会一致及び賛成多数で可決されました。一般質問は7人の議員が町政の諸課題について質問しました。

補正予算

2億7,186万円追加
予算総額

51億5,186万円
△賛成8、反対3▽

歳入

▽地方交付税
2,175万円減額

※平成27年度分の普通交付税において基礎数値報告の誤りから、過大交付となったものを平成28年度の普通交付税交付額から錯誤措置により減額調整

歳出

▽財務財産管理費
財政基金への積立金

1億457万円追加

▽賦課徴収費

平成29年度より固定資産税前納報奨金制度を廃止することに伴う所要の経費

▽社会福祉総務費
110万円追加

国民健康保険事業

財政安定化支援事業費

1,230万円追加

▽保育所運営費

27年度精算に伴う国庫負担金、県負担金の保育給付費に係る返還金

2,023万円追加

▽土地改良事業費

佐合島集落道整備

215万円追加

農免農道法面イノシシ被害復旧整備

161万円追加

▽小学校管理費

学校施設・設備の老朽化に伴う修繕料

152万円追加

▽小学校教育振興費

特別支援等補助教員を県雇用に変更

207万円減額

▽幼稚園費

園長の病気休暇・休職に伴う教諭補助増員

128万円追加

▽図書館費

人事異動による欠員に伴う事務補助員増員

152万円追加

▽保健体育施設費

佐合島のトイレ解体

84万円追加

▽図書館費

人事異動による欠員に伴う事務補助員増員

152万円追加

▽保健体育施設費

佐合島のトイレ解体

84万円追加

▽土木施設単独災害復旧費

9,448万円追加

▽平生町国民健康保険事業勘定特別会計

1億5,987万円追加

▽平生町国民健康保険事業勘定特別会計

21億4,944万円

△賛成8、反対3▽

▽平生町漁業集落環境整備事業特別会計

70万円追加

△賛成9、反対2▽

▽平生町介護保険事業勘定特別会計

8,759万円

▽平生町介護保険事業勘定特別会計

3,565万円追加

△賛成9、反対2▽

▽平生町介護保険事業勘定特別会計

13億3,727万円

△賛成9、反対2▽

▽平生町税賦課徴収条例の一部改正条例

固定資産税の前納報奨金制度の廃止及び外国との間の二重課税を排除するため、改正

9,448万円追加

△賛成8、反対3▽

条例

▽平生町税賦課徴収条例の一部改正条例

固定資産税の前納報奨金制度の廃止及び外国との間の二重課税を排除するため、改正

△賛成8、反対3▽

監査 決算審査意見

平成27年度実質単年度収支が4年ぶりに黒字。

歳出抑制、新規借入抑制による公債費減少、普通交付税・地方消費税交付金大幅増加によるものである。

しかし、自主財源が乏しい状況は変わらず、社会保障費関連の増加が予想されるため引き続き努力を要する。

委員会審査報告

総務厚生常任委員会

平成28年9月5日の本会議から付託を受けた所管事項について、9月12日に慎重に審査した結果、一般会計・国保会計補正予算は賛成少数により否決すべきとなりました。他の議案は全会一致及び賛成多数で可決及び認定しました。主な審査経過は次のとおりです。

補正予算一般会計

質 27年度普通交付税の錯誤措置に関する補正計上額の詳細は。

答 算定上、全国平均よりも高い人口減少率に対する手厚いプラス措置もあり、錯誤分との合算では2,100万円余りの減額補正となった。27年度普通交付税の錯誤措置額は、6,676万円である。また、追加計上している繰越金の中身は、一般財源であることから

特定はできないが、錯誤措置分の一部も含む。

反対討論

「入りを量る」という予算の基本に沿った見積もりを行うよう奮起を促してきたが成果が見られないため反対する。

補正予算国保会計

質 国保税の減額試算と当面の医療費動向は。

答 今年度で保険税を1人1万円下げる試算を行うと、25年赤字決算時の収納額をも下回る減収となる。また、直近の医療費は前年同期を上回っている状況に加え、高額ながんの特効薬が厚労省で承認されたことが医療費請求額に大きく影響する。

反対討論

▽保険税引き下げ要求にかなう答弁がなく反対する。
▽一般会計については繰り出し金の関係で反対する。

決算認定

質 自治会活動費交付金に関して、負担金補助及び交付金の不用額が多額である理由は。

答 自治会活動費の執行残とあわせ、コミュニティ協議会が未設立であった佐賀地区・曽根地区分の地域元気づくり交付金未執行によるものである。

反対討論

▽普通交付税の錯誤に関し、間違い訂正の原則である時間を置かない適切な処理と、住民へのわかりやすい情報提供がされなかった。
▽配布したハザードマップに一部欠落があり、事務の公平・公正・誠実な執行について再考されたいこと。
▽決算報告は住民に説明できる内容であってほしいという3点で反対する。

▽27年度当初予算時の国保税引き上げに際して

申し入れた、基準外繰り入れがされなかったため、反対する。

賛成討論

▽錯誤やミスがあったが、直接の実害は無いので賛成する。

産業文教常任委員会

平成28年9月5日の本会議から付託を受けた所管事項について、9月13日に慎重に審査した結果、議案は全会一致で可決及び認定しました。主な審査経過は次のとおりです。

補正予算一般会計

質 農免農道整備事業のイノシシの法面被害対策は何か。

答 盛土の法面に被害が出ているため、原形復旧の法面整備を行う。金を網を敷くことも検討したが費用や維持管理の問題があるため原形復旧で考えている。
質 幼稚園と図書館の今後の人員配置は。
答 幼稚園では9月より急遽体制を組み替え対

処しているが、来年度には元の人員配置ができるようにしたい。図書館については、正職員配置が館長のみとなるので、適切な人員配置を求めたい。
質 災害復旧費で工事負担金発生の経緯は。
答 町道尾国阿月線で崩れている箇所があると報告を受け、柳井市と現地確認をし、行政界の標識の位置から柳井市側で対応することになったが、標識の位置が地籍とずれており平生町側だと判明し対応することになった。

6月定例会において総務厚生常任委員会に付託された事務検査を7月22日、8月18日・23日に行つた。

事務検査 結果報告

【原因】

決算認定

質 中山間地域振興事業費の減額理由は。

答 中山間地域直接支払制度が第4期対策になり、国の採択条件が変わり、高齢化や鳥獣被害の増加により耕作をやめた集落があり、面積が減つたため。

質 伝承の土づくり推進事業の予算をあまり執行していない理由は。
答 JAと協議をしていなかったため、在庫等の品不足で必要量購入できなかつた。

事務処理の大半が電子化されたことにより、担当者以外のチェックが入りにくくなり、入力ミスに気づかなかつた。その後、担当者が入力ミスに気づき訂正はしたものの、問題となった数値は交付税算定に用いられる基礎数値であることを認識していなかつたため、財政主管課に報告していなかつた。その背景として、当該職員以外の職員も含め、所管業務の中で扱う数字の重要性についての認識が不足していた。また、引き継ぎが的確に行われていなかつた。人事異動により管理職員や担当者が変わっていることを考えれば、問題は健康福祉課だけでなく、全庁的に潜在していると断じざるを得ない。



瀧上正博 議員

いっばん質問



が聞きたい

質 空き家の活用は

答 費用対効果等も含めて検討していく



ほとんど空地になっている隅田住宅

質

国土交通省は、低所得者向けの住宅に空き家を活用し、家賃の一部を補助する方針を固め、来年度につくるとしている。
当町においても、町営住宅を新たに作るよりも、空き家を活用した方が、負担も軽く、空き家の解消にもつながる。
町の方針は、また計画については。

答

町長

活用が可能な空き家については、費用対効果等も含めて検討する。公営住宅等長寿命計画については見直しを含めて検討していかねばならない。
答 町民課長
空き家のデータベースはすでにできている。今年度の下半期には司法書士・弁護士等で構成する協議会を行う。

質 国民健康保険税の引き下げを

答 1万円下げると900万円足りなくなる

質

政府は国民健康保険の被保険者対策として、財政措置を行っている。
当町では1,600万円位となっている。
これは、被保険者一人当たり5,000円の財政改善効果がある。
また当町では、2014年度から保険税の大幅引上げにより、今回の補正予算では、保険税の繰越額は1億1,617万円となっている。この点から考えると1万円位の保険税の引下げは可能ではないか。

答

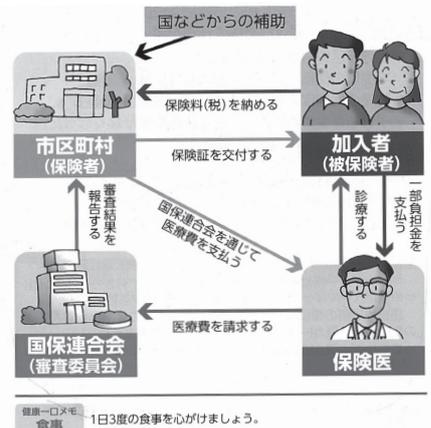
町長

本当に厳しい現状が続いてきた。安定的に事業が運営できるように財源を確保していくことを改めて痛感している。

答

町民課長

仮に被保険者数一人あたり1万円下げると、今年度の調定額を含めると4,900万円税収が下がる。27年度の決算額から4,900万円下げるとなると2億8,000万円となる。赤字決算だった25年度2億8,900万円と比較すると900万円のマイナスとなってしまふ。



国保のしくみ



細田留美子 議員

質 存在感ある島づくりを

答 振興策を十分協議していく

質

佐合島については第四次総合計画で環境整備や防災、健康相談などに取り組まれている。

豊かな自然を活かした交流を促進して存在感のある島づくりに努めるともあるが近隣の島に比べて活気が感じられない。

美しい海などの観光資源を活用してスポットの当たる戦略的な取り組みは考えられないのか。

答

町長

佐合島ならではの振興策として具体的に展開している状況ではない。

これから振興策を十分皆さんと協議をしながら対策をとつていかなければならないし、地元の人々の魅力等の発信をしていけるように基盤整備、状況整備をしていかなければならない。

佐合島の皆さんを含めて関係者とも引き続き協議をしていきたい。



佐賀沖の佐合島

質 生物多様性を守れ

答 環境保全に向けて取り組む

質

環境保全は地球規模の大きな課題だが行動は足元から始める重要な問題である。

平生町は豊かな自然が自慢だが生態系に変化は見られないか。

町政における生物多様性保全の意義と役割をどう考えているか。

現在の自然を未来に残していくためには町内の動植物等のデータが必要だと考えるが資料はあるのか。

答

町長

今県内でもアライグマとかヌートリアが話題になっているが町内での確認はない。

情報収集しながら対応していきたい。

生物の生態系が関連した中で生きていくというのを頭に置きながら環境意識を持って取り組んでいく。

今までの調査データはないが、基礎データを国の緑の国勢調査等を含めて情報収集をしっかりとしながら環境保全に向けて取り組んでいきたい。



天池に飛来した白鳥



中本敦子 議員

質 6,670万円もの金額の過大交付はどのようにして起きたか

答 交付税算定の基礎数値に誤りがあった

過大交付はいつものように気づきどようの対処されるのか時系列で問う。議会への報告はミス発覚時になく、後に誰がいつ、どこで、どのように、誰に伝えたのか問う。21年26年今回と大きな事務処理ミスが続く町の信用は大丈夫か。町長が正しく指導管理能力を発揮すれば職員の質の向上は簡単ではないか。防止対策を問う。

質



ほのぼのセンターひらお

答

町長

普通交付税の過大交付は、介護保険事業の状況報告書の中で基礎数値の誤りが発端であり認定者数を誤って報告をしたため。国と県との協議を踏まえて修正の方法の通知があった時点で、報告をさせていた。再びこのような事がないように厳しく受け止め、また職員の指導についてもコミュニケーションが取れるようにしっかりと対応していく。

質 福祉施設と行政の連携について

答 入居にあたっては判定審査を行っている

町内の老人福祉施設の現状

○各施設の利用者数、入居者数

入所施設名	施設種別	定員数	入所者数
寿海苑	養護老人ホーム	50	43
つつじ苑	特別養護老人ホーム	33	32
つつじ苑(ユニット型)	ユニット型特別養護老人ホーム	21	20
なでしこ	介護老人保健施設	80	77
光輝病院	介護療養型医療施設	444	385
はとがみね(光輝病院)	介護老人保健施設	80	49
サンコート	介護サービス付き高齢者向け住宅	20	21
サンガーデン	軽費老人ホーム	50	50
ル・モンド	有料老人ホーム	18	17

質

平生町にある高齢者が利用する施設は、介護保険制度および自治体の措置、これらでさええる施設の現状を把握しどう分析実践しているのか。措置施設で7人の定員減は町の財政上の都合ではないのか。施設の経営に支障はないか。職員減で現場は大変でないのか。しわ寄せは利用者ではないか。高齢化が進む中、設立の理念、安心安全に過ごせる施設をどう守るのか問う。

答

町長

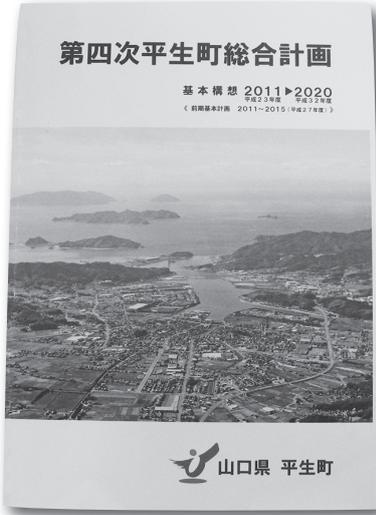
養護老人ホーム「寿海苑」は定員数50名に対し入居者数43名、特別養護老人ホーム「つつじ苑」広域型施設は定員数33名に対し32名、地域密着型施設の定員数21名に20名の入居者がいる。老人福祉法により平成16年度に国の負担金が廃止され一般財源化されている。入所条件を満たす入所判定の審査を受けるため他の老人福祉施設とは異なる。



河内山宏充 議員

質 最終年度の指標値を明らかにせよ

答 前期計画の達成状況として示す



質

今年度から後期基本計画がスタート。後期基本計画の策定過程を考えると26年度の指標値をもって前期基本計画期間の最終年度指標値のように扱うのは「策定する側の問題」であり、基本は27年度の指標値をあきらかにし、住民にわかりやすく情報提供することではないか。

答

町長

第4次総合計画後期計画をスタートするためには26年度の実績値で策定されている。27年度の実績値を目標値と対比させ、一覧表を作るのは可能で別途前期計画期間の達成状況という事で示すことができる。一般会計財政計画については財政の健全化を図っていかなくてはならないと考えている。最新の情報をしっかりと踏まえてより正確に策定していく。

質 地域コミュニティ活動の今後の方向は

答 交流センター移行に向けて計画を進めている

質

町内6地区でコミュニティ協議会が設立された。今後の地域コミュニティ活動への支援はどういう体制で臨み、どういった方向なのか。1、計画されていた地域づくり支援センター（仮称）はどうなったのか。2、教育委員会との連携はどうするのか。

答

町長

これからのコミュニティ活動は住民との協働の拠点、それぞれの交流、情報の発信を通じて住民活動の活性化など課題はあるが支援センターの設置に向けて取り組んでいる。教育委員会との関係は町長部局としっかり連携し協議をしている。公民館を交流センターに移行する計画を進めており、交流センターが自主運営、自主管理をしていけるようにする。その他の質問

効率的で質の高い行政運営について



みんなが利用する宇佐木コミュニティセンター



村中仁司 議員

質 下水道事業について

答 財政基盤の強化に向けて取り組みを進める



工事中の下水道

質

下水道に対して交付税が交付されているが、繰入金に対してどれくらいの割合か。将来、借金がなくなったとき、料金収入だけで下水道事業は運営できるのか。

答 町長

下水道事業は、27年度で一般会計から2億7,000万円を繰り入れその内普通交付税分が60%の1億5,895万円である。26年度も同程度の状況で推移している。



松本武士 議員

質 情報格差の改善は

答 格差の解消に向けて取り組んで行く

質

高速インターネットサービスの地域間格差改善の関係機関との協力と整備計画はどのような状況か。平生町では、街中の一部の店舗でしか公衆無線LAN（Wi-Fi）は、利用できない状況である。計画的に、公共施設や観光施設に整備するべきではないか。整備後、町民へ使い方をお説明するののか。

答 町長

現実には存在している格差の解消は大きな課題として捉えている。ケーブルネットの業者に高速インターネット通信に負けないサービスを提供するように要請している。公衆無線LANについては、総務省の補助で当面、町内3カ所の施設を整備する。他の観光防災拠点施設に対しては計画的に整備を検討したい。使い方教室の開催は地域の方を含めて協議をしていきたい。



Wi-Fi パンフレット



中川裕之 議員

質 BCP 策定への進捗状況は

答 先進的な取り組み、他町の事例を参考にしながら今年度中に策定する

遠くない将来に於て起こる可能性のある南海トラフ巨大地震で、多大な被害が予想される県内の市・町に対して、内閣府の防災室は早急に策定完了するよう進めている。県の防災課によると策定は現在7市町となっているが、平生町も一応その中にあるとの事だが、防災に対する備えに制限はない。住民の安全・安心を守るために常に高い防災意識をもって対応しているか。

質

答 町長

BCP（業務継続計画）は非常時優先業務をしっかりと策定をして、業務の執行体制、対応手順、必要な資源の確保等、あらかじめ定めておいて、初動レベルに対応でき災害発生時の混乱や行政が機能不全を避けるための計画である。地域防災計画の中に6つの必要要素のうち4つが記載されていたので今年度中に策定する。



平生町防災計画

議会研修報告

柳井地区広域市町議会議員研修会

平成28年度柳井地区広域市町議会議員研修会が7月28日柳井市のクルーズホテルで開かれました。

講師に地域再生・経営コンサルタントの水津陽子氏を迎え「町づくりはひとづくり」と題した講演で、地域資源の見つけ方、活かし方でデータを基に成功した事例の話をお聴きしました。

平生町においてもデータに基づいて分析し時代の流れのニーズに沿ったまちづくりが必要だと思われました。

教育委員任命に同意

村川真弓教育委員が任期満了になり、引き続き、村川さんを再任することに同意しました。



村川真弓 教育委員

おわび

6月議会だよりにおいて、議員提出議案の中の高齢者保健福祉費の居宅介護サービス受給者数770人は783人の誤りでした。訂正しておわびいたします。



議会改革調査特別委員会研修報告



平生町議会は、平成27年の改選後、議会改革調査特別委員会を発足させ、これからの議会の方向性、活性化について議論を進めています。

その中で、議会の役割の明確化に向けて、議会基本条例の制定について、先進議会である広島

県世羅町議会へ出向き研修することになり、5人の委員を選び、8月4日に研修いたしました。

研修に当たっては、質問項目を世羅町議会に送り、その回答を受けながら議論を進めていきました。

議会基本条例の制定に

ついては、賛成、反対を含め、町民の皆さんとのやり取りなど、難しい面も多くあったと報告を受けました。

当町においても委員会でさらに検討を進めていきたいと思えます。

平成28年12月定例会会期（予定）

12月9日	9時	本会議
12月12日	9時	本会議
12月15日	9時	産業文教 常任委員会
12月16日	9時	総務厚生 常任委員会
12月21日	10時	本会議

議会の動き

7月13日	7月6日	6月29日	6月24日	6月23日	6月15日	6月14日	28年	7月22日
議会広報広聴調査特別委員会	第2回定例会	第3回臨時会						
							8月16日	8月18日
							議会広報広聴調査特別委員会	議会広報広聴調査特別委員会
							8月23日	8月25日
							議会広報広聴調査特別委員会	議会広報広聴調査特別委員会



原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内
 ・提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者
 紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承ください。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、皆さんは何の秋でしょうか？

リオオリンピック、パラリンピックも終わり各選手達の日々の努力が実を結び結果につながりました。

「感動をありがとう」四年後の東京オリンピックが今から楽しみです。

日銀は物価上昇率が2%を超えるまで金融緩和を継続する姿勢、早期景気回復を期待します。

秋晴れの日が続く中様々な行事等忙しくされている事と思います。くれぐれも身体に気をつけられご活躍されますように。

長岡 浩

